

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公開番号】特開2002-123483(P2002-123483A)

【公開日】平成14年4月26日(2002.4.26)

【出願番号】特願2001-259323(P2001-259323)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 13/362

G 06 F 13/36

【F I】

G 06 F 13/362 510 B

G 06 F 13/36 510

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月26日(2003.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

データバスへのアクセスを調停する装置であって、

データバスの第1の部分と関連するプライオリティ-ベースのアービタと、

該データバスの第2の部分と関連するタイムスロットアービタと、

該データバスの該第2の部分から該データバスの該第1の部分をアイソレートすることができるアイソレーションデバイスとを含み、アイソレートされた場合に、該プライオリティ-ベースのアービタが、該データバスの該第1の部分へのアクセスを制御することを可能とすると共に、該タイムスロットアービタが、該データバスの該第2の部分へのアクセスを制御することを可能とすることを特徴とする装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

複数のバスマスターからの共通のデータバスへのアクセスを調停する方法であって、

該共通のデータバスを2つのアイソレートされた部分に分離するステップと、

該共通のデータバスの第1のアイソレートされた部分上で各々要求するバスマスターのプライオリティに基づいて、該共通のデータバスの該第1のアイソレートされた部分を調停するステップと、

該共通のデータバスの第2のアイソレートされた部分上で各々要求するバスマスターのプライオリティに基づいて、該共通のデータバスの該第2のアイソレートされた部分を調停するステップ、を含むことを特徴とする方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

複数のバスマスターからの共通のデータバスへのアクセスを調停する装置であって、該共通のデータバスを2つのアイソレートされた部分に分離する手段と、該共通のデータバスの第1のアイソレートされた部分上で各々要求するバスマスターのプライオリティに基づいて、該共通のデータバスの該第1のアイソレートされた部分を調停する手段と、該共通のデータバスの第2のアイソレートされた部分上で各々要求するバスマスターのプライオリティに基づいて、該共通のデータバスの該第2のアイソレートされた部分を調停する手段と、を含むことを特徴とする装置。